



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 クボテック株式会社
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 TEL 06-6443-1815
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,637	49.8	742		632		102	16.5
2018年3月期	3,263	19.5	195	649.9	183		122	

(注) 包括利益 2019年3月期 99百万円 (28.6%) 2018年3月期 139百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	7.44		8.0	17.0	45.4
2018年3月期	8.91		10.6	5.1	6.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	3,600	1,327	36.9	96.39
2018年3月期	3,848	1,227	31.9	89.13

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,327百万円 2018年3月期 1,227百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	23	1,284	89	2,228
2018年3月期	43	190	267	1,067

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	900	4.4	195		200		210		15.25
通期	2,600	58.7	30		20		10	90.2	0.73

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	13,830,000 株	2018年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	62,159 株	2018年3月期	62,159 株
期中平均株式数	2019年3月期	13,767,841 株	2018年3月期	13,767,841 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,069	62.7	783		684		82	23.2
2018年3月期	2,868	29.0	110		154		107	254.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	6.01	
2018年3月期	7.83	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	3,345		1,227		36.7		89.16	
2018年3月期	3,680		1,145		31.1		83.18	

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,227百万円 2018年3月期 1,145百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、緩やかな回復が続きましたが、米中貿易摩擦を背景に米国、中国をはじめ世界経済の減速懸念が高まるなど、先行き不透明な状況となっております。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資に慎重な動きが見られるなど、厳しい受注環境となりました。

このような環境の中、当社グループでは、製品開発、販売拡大により事業基盤の強化を図ってまいりましたが、主力製品の画像処理外観検査装置は主要顧客の設備投資時期の影響を受け大幅な減収となりました。この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高1,637百万円(前連結会計年度比49.8%減)、営業損失742百万円(前連結会計年度は営業利益195百万円)となりました。また、海外子会社Kubotek USAのIPアドレス売却に伴う貯蔵品売却益126百万円を営業外収益に計上した結果、経常損失632百万円(前連結会計年度は経常利益183百万円)となり、京都第二工場及び第三工場の土地・建物の売却に伴う固定資産売却益763百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は102百万円(前連結会計年度比16.5%減)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

(日本)

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上は大幅に減少しました。この結果、売上高は1,006百万円(前連結会計年度比62.3%減)、セグメント損失は783百万円(前連結会計年度はセグメント利益110百万円)となりました。

(米国)

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は383百万円(前連結会計年度比0.6%減)、セグメント利益は5百万円(前年連結会計年度比86.8%減)となりました。

(韓国)

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は247百万円(前連結会計年度比19.7%増)、セグメント利益は16百万円(前連結会計年度比768.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ248百万円減少しました。流動資産は現金預金の増加1,160百万円、売上債権の減少495百万円、たな卸資産の減少166百万円などにより、457百万円増加しました。固定資産は京都第二工場及び第三工場土地・建物売却に伴う有形固定資産の減少などにより、705百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ348百万円減少しました。流動負債は仕入債務の減少212百万円、短期借入金の減少900百万円などにより、1,010百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加などにより、661百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益102百万円の計上などにより、純資産合計が99百万円増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,160百万円増加し、2,228百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、23百万円(前連結会計年度は資金の取得43百万円)となりました。

これは主に売上債権の減少572百万円などの資金増加、固定資産売却益の計上763百万円などの資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果取得した資金は、1,284百万円(前連結会計年度は資金の使用190百万円)となりました。

これは主に有形固定資産の売却による収入1,478百万円などの資金増加、ソフトウェアの取得による支出170百万円などの資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、89百万円(前連結会計年度は資金の取得267百万円)となりました。

これは主に長期借入金の借入による収入1,300百万円などの資金増加、短期借入金の減少900百万円、長期借入金の返済による支出489百万円などの資金減少によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第33期 2018年3月期	第34期 2019年3月期
自己資本比率	31.9	36.9
時価ベースの自己資本比率	192.1	130.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	37.8	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	4.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式除く)により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦の長期化が懸念されるなど、フラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、当面厳しい受注環境が続くことが予想されますが、当社グループは引続き売上確保に向けた受注努力とコストダウンに取り組むとともに、エネルギー事業における次世代フライホイール大出力発電装置の開発やオーディオ事業の早期事業化を積極的に推進し、収益力向上に努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高2,600百万円(前連結会計年度比58.7%増)、営業利益30百万円(前連結会計年度は営業損失742百万円)、経常利益20百万円(前連結会計年度は経常損失632百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円(前連結会計年度比90.2%減)を見込んでおります。

「業績予想に関する留意事項」

この資料に記載されている2020年3月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、投資等の判断を行うに際しては、これらの業績見通しのみには依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶等のディスプレイの検査機システムですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資額の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけではなく海外においても取引を行っております。現在はほぼ円貨建取引を行っておりますが、将来外貨建取引が増え、為替相場の変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,099,414	2,260,197
受取手形及び売掛金	1,216,793	736,530
電子記録債権	97,034	81,793
商品及び製品	14,236	8,259
仕掛品	265,701	175,784
原材料及び貯蔵品	112,524	42,142
その他	100,626	61,531
貸倒引当金	△21,639	△24,180
流動資産合計	2,884,693	3,342,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	659,211	199,143
減価償却累計額	△467,782	△163,581
建物及び構築物 (純額)	191,429	35,562
機械装置及び運搬具	60,446	31,707
減価償却累計額	△55,454	△29,114
機械装置及び運搬具 (純額)	4,992	2,593
工具、器具及び備品	465,311	308,182
減価償却累計額	△434,138	△278,798
工具、器具及び備品 (純額)	31,172	29,383
土地	558,514	-
有形固定資産合計	786,109	67,539
無形固定資産		
ソフトウェア	147,036	158,975
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	149,322	161,260
投資その他の資産		
投資有価証券	3,765	5,867
繰延税金資産	1,772	1,027
破産更生債権等	79,360	238
その他	23,060	22,688
貸倒引当金	△79,360	△238
投資その他の資産合計	28,598	29,582
固定資産合計	964,029	258,383
資産合計	3,848,723	3,600,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,669	266,251
短期借入金	1,100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	291,000	445,424
未払法人税等	30,730	9,645
前受金	227,882	218,047
賞与引当金	16,070	9,540
関係会社整理損失引当金	30,032	32,430
その他	142,759	125,762
流動負債合計	2,317,144	1,307,102
固定負債		
長期借入金	246,000	901,864
繰延税金負債	5,187	6,120
退職給付に係る負債	49,571	50,652
その他	3,725	7,677
固定負債合計	304,484	966,314
負債合計	2,621,628	2,273,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△679,148	△576,694
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,190,883	1,293,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△355	△747
為替換算調整勘定	36,566	34,435
その他の包括利益累計額合計	36,211	33,688
純資産合計	1,227,094	1,327,026
負債純資産合計	3,848,723	3,600,443

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	3,263,260	1,637,850
売上原価	2,133,807	1,495,387
売上総利益	1,129,453	142,463
販売費及び一般管理費	933,669	885,406
営業利益又は営業損失(△)	195,783	△742,943
営業外収益		
受取利息	234	406
受取配当金	305	124
受取賃貸料	1,111	277
貯蔵品売却益	-	126,089
その他	73	530
営業外収益合計	1,724	127,428
営業外費用		
支払利息	12,014	13,643
為替差損	2,034	3,053
その他	30	190
営業外費用合計	14,080	16,887
経常利益又は経常損失(△)	183,427	△632,402
特別利益		
固定資産売却益	-	763,205
特別利益合計	-	763,205
特別損失		
関係会社整理損	31,620	2,398
特別損失合計	31,620	2,398
税金等調整前当期純利益	151,807	128,404
法人税、住民税及び事業税	29,725	24,327
法人税等調整額	△584	1,621
法人税等合計	29,140	25,949
当期純利益	122,666	102,454
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	122,666	102,454

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	122,666	102,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	△391
為替換算調整勘定	17,713	△2,131
その他の包括利益合計	17,225	△2,522
包括利益	139,891	99,931
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	139,891	99,931
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△801,815	△81,717	1,068,216	132	18,853	18,986	1,087,203
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純利益		122,666		122,666				122,666
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					△487	17,713	17,225	17,225
当期変動額合計	-	122,666	-	122,666	△487	17,713	17,225	139,891
当期末残高	1,951,750	△679,148	△81,717	1,190,883	△355	36,566	36,211	1,227,094

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△679,148	△81,717	1,190,883	△355	36,566	36,211	1,227,094
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純利益		102,454		102,454				102,454
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					△391	△2,131	△2,522	△2,522
当期変動額合計	-	102,454	-	102,454	△391	△2,131	△2,522	99,931
当期末残高	1,951,750	△576,694	△81,717	1,293,338	△747	34,435	33,688	1,327,026

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	151,807	128,404
減価償却費	196,561	189,372
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,292	△76,543
賞与引当金の増減額 (△は減少)	410	△6,530
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△360	1,081
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	30,032	2,398
受取利息及び受取配当金	△539	△530
支払利息	12,014	13,643
為替差損益 (△は益)	1,565	△1,313
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△763,205
売上債権の増減額 (△は増加)	△373,179	572,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,450	165,275
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△36,644	30,351
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,113	△210,912
前受金の増減額 (△は減少)	△3,427	△4,210
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,202	14,248
未払金の増減額 (△は減少)	55,617	△38,363
その他	△6,637	17,413
小計	67,874	32,753
利息及び配当金の受取額	536	527
利息の支払額	△10,197	△14,128
法人税等の支払額	△14,885	△43,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,327	△23,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,658	△2,493
有形固定資産の取得による支出	△10,751	△20,775
有形固定資産の売却による収入	-	1,478,073
関係会社の整理による支出	△32,335	-
ソフトウェアの取得による支出	△146,836	△170,595
その他	1,668	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,913	1,284,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	463,000	△900,000
長期借入れによる収入	200,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△396,000	△489,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	267,000	△89,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,539	△9,757
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127,952	1,160,780
現金及び現金同等物の期首残高	939,793	1,067,746
現金及び現金同等物の期末残高	1,067,746	2,228,526

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」1,772千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,772千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3Dソリューションシステム及びメディアネット機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社と韓国子会社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	2,670,371	386,416	206,472	3,263,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	198,132	20,643	48,129	266,906
計	2,868,503	407,060	254,602	3,530,166
セグメント利益	110,841	40,843	1,953	153,638
セグメント資産	3,680,618	130,414	204,234	4,015,268
その他の項目				
減価償却費	204,548	3,383	53	207,985
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	167,037	3,862	—	170,899

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,006,709	383,960	247,180	1,637,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,571	12,615	47,607	122,794
計	1,069,280	396,576	294,787	1,760,645
セグメント利益又は損失(△)	△783,479	5,397	16,973	△761,108
セグメント資産	3,345,256	143,569	168,299	3,657,125
その他の項目				
減価償却費	195,876	5,488	44	201,409
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	179,251	13,811	—	193,063

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,530,166	1,760,645
セグメント間取引消去	△266,906	△122,794
連結財務諸表の売上高	3,263,260	1,637,850

(単位：千円)

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	153,638	△761,108
セグメント間取引消去	9,321	5,351
内部利益の調整額	△972	12,215
貸倒引当金の調整額	33,796	598
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	195,783	△742,943

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,015,268	3,657,125
セグメント間取引消去	△440,255	△359,884
内部利益の調整額	△14,285	△2,070
その他	287,995	305,273
連結財務諸表の資産合計	3,848,723	3,600,443

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	207,985	201,409	△11,424	△12,037	196,561	189,372
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	170,899	193,063	△12,037	△1,130	158,862	191,932

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、内部利益の消去額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	2,614,568	526,969	121,722	3,263,260

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
1,314,358	343,521	75,528	1,141,023	385,519	3,308	3,263,260

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Chengdu CEC Panda Display Technology Co., Ltd.	931,000	日本
株式会社ウィンテック	524,384	日本
シャープ株式会社	424,230	日本

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	928,241	534,079	175,529	1,637,850

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
725,219	247,327	183,662	96,923	347,603	37,113	1,637,850

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
57,072	10,351	115	67,539

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ウィンテック	172,690	日本
ダイترون株式会社	170,575	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	89円13銭	96円39銭
1株当たり当期純利益金額	8円91銭	7円44銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	122,666	102,454
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	122,666	102,454
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,841	13,767,841

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	915,359	△65.1
米国	383,865	△0.8
韓国	241,281	14.3
合計	1,540,506	△52.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	621,744	△62.3	782,900	△16.9
韓国	238,892	13.7	5,450	△57.8
合計	860,636	△53.7	788,350	△17.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。

(3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	1,006,709	△62.3
米国	383,960	△0.6
韓国	247,180	19.7
合計	1,637,850	△49.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社ウィンテック	524,384	16.1	172,690	10.5
ダイトロン株式会社	—	—	170,575	10.4

3. 前連結会計年度について、当該割合が100分の10未満の相手先は記載を省略しております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。